



わくわく活動ひろば

豊橋市では、みなさんからの寄附などによるトヨッキー基金（市民協働推進基金）から、社会に役立つ活動に市民協働推進補助金を交付しています。この補助金によるNPOや自治会などの活動を紹介します。



二川小学校子ども見まもり隊

二川小学校子ども見まもり隊は、平成17年に「防犯ボランティア」として30人で始めました。平成22年に「見まもり隊」と改名し、45人となって活動も強化しました。学校、家庭に協力し「児童を守り、育てる」をモットーに、各隊員の都合のつく、無理のない範囲で、登下校の時間に合わせて通学路の所々で見まもり活動を行っています。活動をより充実させるため、「見まもりマップ」を作成し、見まもり隊員が立つ位置を学校や家庭へ知らせています。また、学校からは、登下校の時間が変更されたら連絡をもらうようにしています。さらに、青色回転灯を使った「青パト」で下校時間に合わせて二川校区内をパトロールしています。本年度からは、学校の美化と隊員相互の連帯感を養う狙いから、5月の「530運動」や8月の「夏休み親子清掃」にも参加しています。今後も、二川小学校児童のため、頑張って活動していきます。

問合せ 二川小学校子ども見まもり隊 朝倉 (☎41・3573)



夏休み親子清掃のようす



ストローおじさんの親子ふれあい工作教室

私たちは、工作の楽しさを子どもたちに伝えるとともに、親子の絆を深めてもらうことを願いながら活動しています。この夏休み期間中、多くの親子の絆ができたと思います。例えば、ある日、男の子たちが化石と鉱物を持って訪ねて来ました。「谷川で採集した物だけれど、お父さんは何も教えてくれないので、おじさん教えて」とのことでした。2・3日中に調べるからと返事をし、名前や年代、硬度などを調べ、子どもたちの父親を呼んで、彼らに教えてくれるよう伝えました。翌日、子どもたちは「僕のお父さんはすごい!化石も鉱物もよく知っている!と、うれしそうに話していました。また、別の親子は、ペットボトルでロボットか天体望遠鏡は作れないかと相談に来たので、少しアイデアを出してあげました。他にも、多くの親子が訪れ、当工房は賑わいました。どんな物でも親と子が話し合っって1つの物を完成させている姿は、見ている方も楽しいものです。

子どもたちの要望を聞いているうちにメニューが増え、120種類以上になりました。私たちがもたえず学んでいます。現在のメニューは、ストロー細工、竹細工、木工細工、カラクリ、絵手紙、布細工、紙すき、化石、鉱物などです。

問合せ ストローおじさんの親子ふれあい工作教室 水谷 (☎41・5835)



親子ふれあい工作教室のようす

トヨッキー基金への寄附は、随時受け付けしています。この基金への寄附は税金の優遇措置があります。

詳しくは市民協働推進課 (☎51・2482) <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/shiminkyodo/>

豊橋市役所

〒440-8501 今橋町1番地 代表☎(0532)51・2111

編集・発行(毎月1日・15日)広報広聴課☎51・2165 56・5711

豊橋市ホームページ <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/>

広報とよはしのバックナンバー(平成16年1月1日号から)もご覧になれます

広報とよはしはカラーユニバーサルデザインに対応しています

点字広報・声の広報を発行しています

目の不自由な方のために、広報とよはしの点字版とカセットテープ版を月2回発行しています。

ご希望の方は、広報広聴課(☎51・2166 56・5711

☎kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)へ連絡してください。